

2019年度 事業計画書

2019年1月1日から12月31日まで

笑顔つながるささやまステイ実行委員会

1 事業実施の方針

東日本大震災と福島第1原発事故により、福島県を中心として多くの人々が故郷を離れて暮らすこととなった。除染作業が進んだとして避難区域の指定が解除されても、放射能汚染の不安や生活圏復興の遅れから、故郷に帰ることのできない人々がいる。また、避難区域等に指定されることなく、高い放射線下にありながら、十分な公的支援を受けられず、被ばくの不安を抱えながらの生活を余儀なくされている人々もいる。

そのような被災者に対して、保養プログラムを提供し、被災者の被ばくを低減するとともに、子どもたちの運動不足解消および健康増進へのきっかけを作る。実施にあたっては、保養の目的やあるべき姿・取り巻く環境を再確認し、原発事故から8年がたとうとする今、被災者が何を必要としているかを調査し、課題を明らかにした上で、優先度をつけて取り組む。

ここ数年、当初参加していた子どもたちが中学生・高校生となり、参加が減る一方、原発事故後に生まれた子どもたちの参加が目立つようになってきている。これは、原発事故後に福島で暮らし続ける選択をした方々が、日々の暮らしの中で今も放射能への不安を抱えていることを意味している。今後も長期的な保養プログラムが必要とされている。

事業を通して、被災者が必要とする支援ができる支援者とのつながりを築き、日常的な相談や援助を中心とする生活支援のできる環境を作る。

そのために、篠山市民センターまつりへの出展、お話し会や勉強会を開催し、篠山市民を中心に広く知ってもらう活動、さらには支援につなげる活動に力を入れる。

2 事業計画

(1) 篠山市民センターまつり出展

内 容 : 篠山市民センターまつりに出展する。事業の内容や昨年実施したステイの写真などを掲示し、事業の必要性を伝え、支援の拡大を図る。

実施月 : 1月

場 所 : 篠山市民センター

従事者の人数 : 実行委員2名、ボランティア2名

受益対象者の範囲 : 市民センターまつりを訪れる一般市民

受益対象者の見込み人数 : 100名前後

(2)ぐるぐるマルシェ出展

内 容 : ぐるぐるマルシェに出展する。事業の内容や昨年実施したステイの写真などを掲示し、事業の必要性を伝え、支援の拡大を図る。

実施月 : 3月

場 所 : 丹波の森公苑

従事者の人数 : 実行委員2名

受益対象者の範囲 : ぐるぐるマルシェを訪れる一般市民

受益対象者の見込み人数 : 100名前後

(3)小さき声のカノン上映会

内 容 : 子どもたちを放射能から守ろうと奮闘する福島のお母さんたちを取り上げたドキュメント映画「小さき声のカノン」を上映する。

実施日 : 5月

場 所 : 篠山市民センター

従事者の人数 : 実行委員名2名、ボランティア2名

受益対象者の範囲 : 昨年の支援者および一般市民

受益対象者の人数 : 50名程度

(4)説明会&勉強会の開催

内 容 : 夏休み保養プログラムに協力していただくボランティアを広く募集し、プログラムの目的や内容・具体的なスケジュールや役割を説明する。また、プログラム中に想定される事故や病気などについて対応策を学ぶ。

実施月 : 7月

場 所 : 篠山市民センター

従事者の人数 : 実行委員5名、講師1名

受益対象者の範囲 : ボランティア希望者および一般市民

受益対象者の見込み人数 : 20名程度

(5)夏休み保養プログラムの実施

内 容 : 放射線量の高い環境の中で暮らしている子どもたちが、汚染のほとんどない篠山に滞在(4泊5日)することで、子どもたちの被ばくを減らし、放射能を気にせずに自然の中で思いきり遊べる機会(川遊びや山登り)を提供する。

不安を抱えながら、子どもたちを守り育てているご両親やご家族にも、ホッとひと息つけるリフレッシュの場を提供するとともに、社会福祉士・看護師によるケアプログラムを実施し、子どもたちを守るために自分を見つめ直し、大切にすることに気づく機会を提供する。

また、参加者と地元住民や福島から篠山に避難移住されている方々が交流する

場を設け、被災者・避難移住者それぞれが必要とする支援を調査し、継続的な支援につなげる。

実施月 : 8月

場 所 : 龍蔵寺、風の家、丹波の家(篠山市真南条)

従事者の人数 : 実行委員5名、ボランティア20名

受益対象者の範囲 : 福島第1原発事故で放射能の影響を受けている子どもとその保護者

受益対象者の人数 : 5家族20名程度

(6) ステイ報告会と勉強会の開催

内 容 : 事業に支援して下さった方を中心に、興味を持って下さった方、さらには広く篠山市民にも呼びかけ、ステイの報告会を開催する。また、なぜ保養プログラムを行う必要があるのかを知るため、福島の今や避難者の置かれている状況など、福島第1原発事故による影響や取り巻く環境について、講師を招いて勉強会を開催する。

実施月 : 10月

場 所 : 篠山市民センター

従事者の人数 : 実行委員5名、講師1名

受益対象者の範囲 : 支援者および一般市民

受益対象者の見込み人数 : 40名前後

(7) ホームページとFacebookページ、LINE@の運営

東日本大震災から7年がたち、事故が過去のものとなりつつある今、より多くの人々に今なお不安を抱き暮らしている被災者の現状などを伝えるため、ホームページとFacebook ページ、LINE@を使って引き続き情報発信する。

発信にあたっては、より広く深く理解してもらえるよう、笑顔つながるさきやまステイの活動に留まらず、関連する情報をシェアする。

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

①総会

事業計画・予算、事業報告・決算等、その他会の運営に関する重要事項について議決する。

②実行委員会

総会の議決した事項の執行に関する事項、その他総会の議決を必要としない事項について議決する。

(2) 実施体制

実行委員会の役員および会員によって、事業を遂行する